

令和4年度御殿場市環境マネジメントシステム 取組結果報告書

御殿場市では、平成21年度から御殿場市環境マネジメントシステム（EMS）を制定・運用し、環境推進活動を実施しています。

本システムは、市のすべての施設・組織・職員を対象として、事務及び事業活動に伴う環境の向上及び環境への負荷を継続的に低減するものです。

《市直営施設及び指定管理施設》

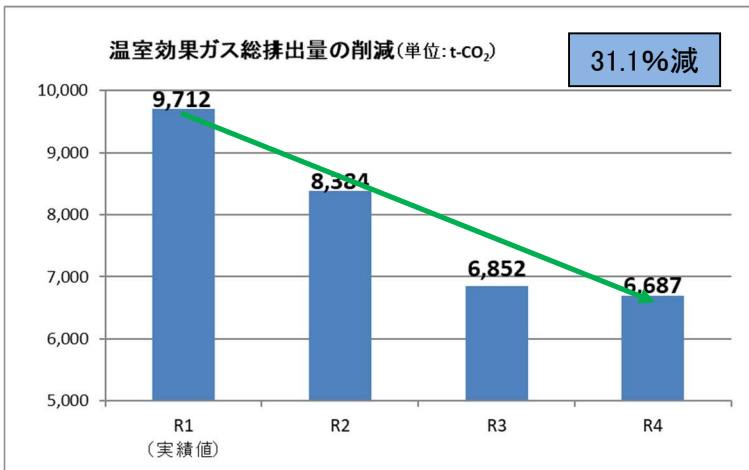
環境の向上及び環境負荷の低減に関する取組項目		目標		令和3年度 実績値	令和4年度 実績値 (R1実績値との比較)	目標達成 の有無
		目標値	基準値 (R1実績)			
1 省エネルギー・省資源の推進	(1) 温室効果ガス総排出量の削減 (単位:t-CO ₂)	令和7年度までに 令和元年度実績から86%削減	9,712	6,852	6,687 (-31.1%)	未達成
	A 電気及びその他の燃料(A重油、灯油、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油)使用量の削減	令和7年度までに 令和元年度実績から5%削減	9,407	6,596	6,430 (-31.6%)	未達成
	B 公用車燃料使用量の削減 (走行距離を含む)	306	256	258 (-15.6%)	達成	
	(2) 紙使用量の削減 (単位:kg)	令和7年度までに 令和元年度実績から5%削減	94,784	113,350	102,594 (8.2%)	未達成
	(3) 水使用量の削減 (単位:m ³)	187,567	163,526	168,795 (-10.0%)	達成	
2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進	可燃ごみ排出量の削減 (単位:kg)	令和7年度までに 令和元年度実績から5%削減	191,896	186,490	198,628 (3.5%)	未達成
3 グリーン購入の推進 * 環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを優先的に購入	適合率75%以上	72.6%	76.3%	77.9%	達成	

環境マネジメントシステムの取組項目を、電気使用量、公用車燃料使用量、暖房等に利用するその他燃料使用量からなる「温室効果ガス総排出量」、「紙使用量の削減」、「水使用量の削減」、「可燃ごみ排出量の削減」及び「グリーン購入の推進」とし、それぞれ削減目標等を設定しています。

令和4年度は第5期目標の2年目となります。令和元年度を基準年度とし、令和7年度までに温室効果ガスの排出量を86%削減する目標達成に向け、より一層の取組を行っていきます。

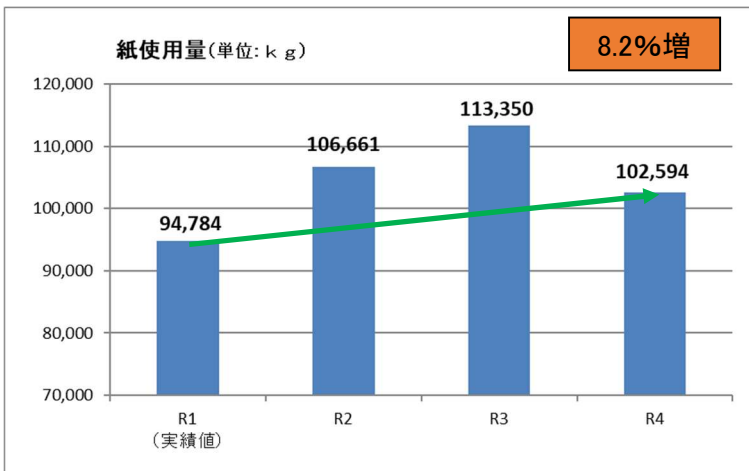
1 省エネルギー・省資源の推進

(1) 温室効果ガス総排出量の削減



温室効果ガス総排出量は、前年度に比べ 165t-CO₂(2.4%)の減、基準年度(令和元年度)に比べ 3,025t-CO₂(31.1%)の減となった。

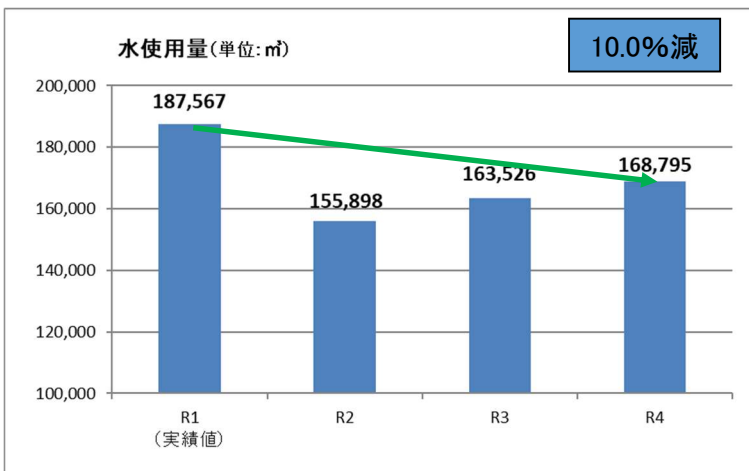
(2) 紙使用量の削減



紙使用量は、前年度に比べ 10,756kg(9.5%)の減、基準年度(令和元年度)に比べ 7,810kg(8.2%)の増となった。

前年度と比べ、小中学校の資料電子化が進んだため減少が大きかった。しかし、新型コロナウイルス関連の業務に加え、徐々にコロナ前のように事業の実施が増えてきたことが紙使用量の基準年度と比較した時の増加に影響している。

(3) 水使用量の削減

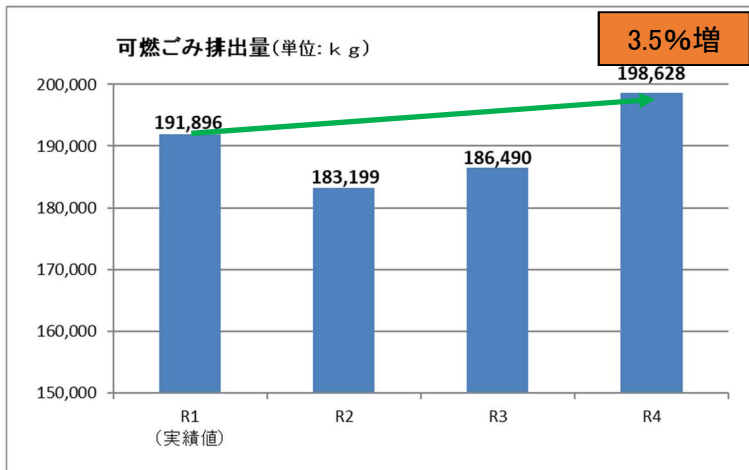


水使用量は、前年度に比べ 5,269 m³(3.2%)の増、基準年度(令和元年度)に比べ 18,772 m³(10.0%)の減となった。

前年度と比べ、指定管理施設で使用量が増加しているため、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための規制緩和による施設の稼働率上昇が原因と考えられる。

2 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

可燃ごみ排出量の削減

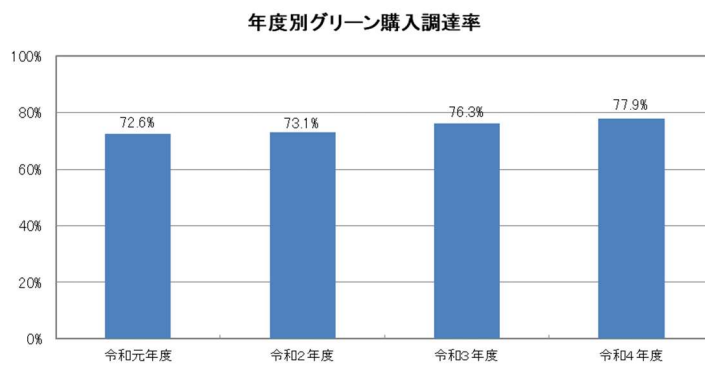


可燃ごみ排出量は、前年度に比べ12,138kg(6.5%)の増、基準年度(令和元年度)に比べ6,732kg(3.5%)の増となった。

前年度と比べ、多くの指定管理施設で排出量が増加しているため、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための規制緩和による施設の稼働率上昇が原因と考えられる。さらに、学校では、牛乳パックが飛沫感染防止のためリサイクルに出せなくなり、基準年度と比較してもごみの量が増えている。

3 グリーン購入の推進

グリーン購入適合品の調達率



適合品調達率 75%という目標に対し、令和4年度は前年度を1.6ポイント上回り77.9%で目標達成となった。